慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	序
Sub Title	
Author	堀江, 湛(Horie, Fukashi)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1988
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.61, No.2 (1988. 2) ,p.5- 6
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	青柳文雄先生追悼号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19880228-0005

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

序

青柳文雄先生が亡くなられたとの突然の報に接したのは、一昨年の暮も押し詰まってのことであった。温厚なうちにも凜とした先生の御容顔に接することは、もうできないという悲しみとともに、先生を失った慶應義塾大学法学部の刑事法部門の痛手の大きさに慄然としたものを覚えずにはいられなかった。先生は、昭和五十一年に慶應義塾大学法学部を定年で御退職になったものの、その後も年少の後進の成長のために有形無形のご指導を賜わり、外から慶應義塾大学法学部刑事法部門のためになにくれとなく面倒をみて下さっていたからである。

先生は慶應義塾大学法学部教員の中にあっては、極めてユニークな経歴の持ち主であられた。先生は大学卒業と同時に高文司法科に合格し、検事としての道を歩まれることになった。第二次大戦中は中国各地で領事官としてご在勤になり、大戦後は判事の御経歴も加えられた。先生は司法界において嗣目される一方、やがて刑事法のご研究においても、そのユニークな御経歴と実務経験を反映した優れた学問的業績を次々と発表されるようになった。先生は昭和三十四年上智大学教授として学界に転ぜられた。慶應義塾大学法学部には、昭和二十二年から講師として御出講になっていたが、昭和四十七年には専任教授に就任され、わずか四年間ではあったが慶應義塾大学法学部の刑事法部門の充実と学問水準の向上に多大の貢献をなされた。

先生が昭和五十一年に御退職になった際、われわれ後進は先生に御退職記念の論文集を献呈し、その中で先生から末永い御指導を賜わりたいことを請うた。中谷瑾子教授も御定年により退職され、新進を加え、刑事法スタッフはす

っかり若返った。それだけに青柳先生の御逝去は、慶應義塾大学法学部にとってはあまりにも早すぎたと言わなければならない。今、慶應義塾大学法学部出身の刑事法部門の研究者が相集い、先生の御学恩に報いるべく、文字通り総力をあげてこのささやかな小冊子を編んだ。いつの日にか先生の築かれた慶應義塾大学刑事法部門の名声を受け継ぐべく、孜孜として励む後進の新たな解纜のしるしとして、この論文集を御霊前に捧げたい。

昭和六十三年二月十五日

法学部長　堀　江　湛